

# 公開講座「eラーニング管理栄養士国家試験受験対策」 における学生マニュアルの作成

The Making of Student Manual on the Training  
Course for the National Examination for  
Registered Dietitian by E learning

樋口行人・塚原大樹<sup>\*1</sup>・安部雅史<sup>\*2</sup>

Higuchi Yukito, Tsukahara Hiroki and Abe Masafumi

## 1. 緒言

平成12年の栄養士法改正（平成14年施行）に次いで、養成施設のカリキュラム改正（平成14年度より実施）、管理栄養士の国家試験出題基準（ガイドライン）改訂（平成17年度より実施）が行われた。次回第20回管理栄養士国家試験（平成18年3月）は、初めて新ガイドラインでの実施となる。本学科では、他に先んじていち早く、卒業生を中心とした地域の栄養士のキャリアアップをサポートするため、インターネットを介した新しい教育方法を開発し<sup>1)</sup>、公開講座「eラーニング管理栄養士国家試験受験対策」を平成17年9月より配信している。

前述のような栄養士を取り巻く環境の変化と、これを受けた本学科の卒業後教育の方向性、eラーニングシステムの概要およびコンテンツ内容は、筆頭者と品川の連名で現在投稿中であるので別報に譲り、本報では本講座専用のマニュアル冊子作成の意義を報告する。

## 2. 目的と方法

本講座は栄養士養成施設である大学が、電子媒体を用いた双方向性eラーニングにより、低価格で管理栄養士国家試験対策を行うという前例のない新たな試みであるので、問題点も多数ある。その一つとして、受講生である栄養士の情報機器操作能力が挙げられる。既存のeラーニングでは、マニュアルも電子媒体であることが多いが、紙面を見ながらの操作の方が初心者にはわかりやすいと思われるので、より効果的に、そして情報機器操作能力の低い受講生でも無理なく扱えるように、受講生全員に我々の作成した冊子「管理栄養士国家試験受験対策学生マニュアル」を郵送した。

マニュアル冊子の作成には、Microsoft社のWord2003を使用して、冊子中の図はすべて本

---

\*1 (株)ラーニングシステム総合研究所 事業開発部

\*2 (株)ラーニングシステム総合研究所 事業開発部

講座中で実際に見られる画面をスクリーンショットにより挿入した。オールカラーで総頁数は23頁、ログイン・ログアウト操作、連絡掲示板、テスト、ファイルボックス、フォーラム、履歴確認、アクティブメッセージ、ブックマーク利用の説明等からなり、すべての操作方法が容易に確認でき、講座受講に有効である。目次の項目を図1に示す。

図1 スチューデントマニュアルの目次頁

*Student Manual*

---

= 目次 =

1 ログイン画面について	1
2 ワークスペース（学習開始画面）について	2
(1) 画面説明	2
(2) ログアウトの操作方法	3
3 学習画面の基本機能について	4
(1) 連絡掲示板	4
(2) テスト	6
(3) ファイルボックス	9
(4) フォーラム	10
① 新規投稿	11
② 既存トピックへの返信	12
(5) 学習履歴の確認方法	13
(6) アクティブメッセージの利用	15
(7) ブックマークの利用	19

### 3. 結果

本報では、このシステムの主項目であり、最も反復利用されるテスト機能のマニュアル部分を記す（図2）。

図2-A スチューデントマニュアルのテスト機能についての頁1

#### (2) テスト

学習前の実力判定や学習後の理解度確認などにテスト機能を利用することができます。

回答は二者択一や五者択一により選択します。回答状況については、画面右側の「回答状況」エリアにて確認できます。

テスト終了後は、得点が自動計算され、テストごとの設定により総得点、解説、解決策などの結果が表示されます。



#### テスト開始時のボタン種別

続きから始める	以前に未完了のまま一時中断したテストがあります。そのテストを再開させ完了させる場合は、 <b>続きから始める</b> ボタンをクリックします。
開始	新規にテストを開始する場合は、 <b>開始</b> ボタンをクリックします。

#### テスト終了時のボタン種別

保存	画面を閉じず、解答を一旦保存する場合は <b>保存</b> ボタンをクリックします。
一時中断	未解答項目がある状態で一旦画面を閉じ再度実施する場合は、 <b>一時中断</b> ボタンをクリックします。解答済みの項目は保存されます。 ただしテストに時間制限が設定されている場合は、中断時の経過時間と中断後の経過時間がトータルで換算されますのでご注意ください。
送信	テストを完了する場合は、 <b>送信</b> ボタンをクリックします。送信したデータは自動集計され、送信後の変更はできません。

### 3・1 テスト

テスト機能のシステムは、○×基礎問題と五択国試レベル問題からなり、いずれも受講生が回答を送信すると、すぐに得点及びすべての設問に対する正答と解説が表示される。設問に

図2-B スチューデントマニュアルのテスト機能についての頁 2

モジュール下の任意の「テスト」をクリックします。



テストの開始画面が表示されます。  
テストの情報や受講回数などが表示されます。



「続きから始める」または「開始」ボタンをクリックします。

※初めてこのテストを受講する場合は、「続きから始める」ボタンは表示されません。  
問題画面が表示されます。



解答を選択します。

- ※ 回答状況表示
- ◆ (緑)：回答済み
  - ◆ (赤)：未回答

解答後、「保存」、「一時中断」、「送信」ボタンの 3 つの中から任意のものをクリックします (P6 参照)。



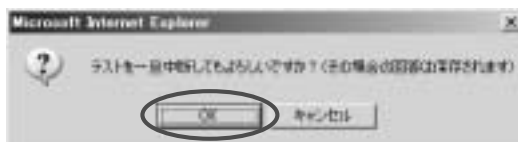
※「送信」ボタン以外をクリックした場合は集計結果 (解説) 画面は表示されません。

よってはファイルボックス中の参照ファイルも表示される（図 2-C）。テストを一時中断し、解答済みの項目を一時保存することや、過去に受けたテストの履歴（結果）確認も可能である。

図2-C スチューデントマニュアルのテスト機能についての頁 3

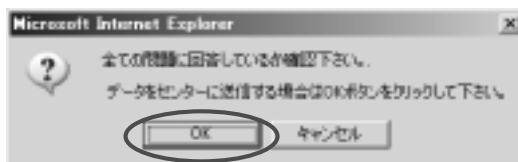
「一時中断」ボタンをクリックした場合は、右のメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると画面が自動的に閉じます。



「送信」ボタンをクリックした場合は、右のメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックするとデータが送信され自動的に集計されます。



添削結果が表示されます。

※ あなたの解答が青、正しい解答が緑で表示されます。

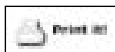
※ 解説や全体のフィードバックに参照ファイルが表示されます（直接リンクはできません）。



内容を確認後、「閉じる」ボタンをクリックします。

※ テスト中にブラウザの更新を行った場合は、データが認識されない場合がありますのでご注意ください。

※ テスト結果を印刷する場合は、



ボタンをクリックします。

テスト機能以外のシステムの内容を以下に簡潔に記す。これらのマニュアル部分は割愛するが、テスト機能同様に操作方法が容易に確認できる。

### 3・2 連絡掲示板

コンテンツの追加、更新やシステム利用に関する情報、また管理栄養士国家試験に関する最新情報やスクーリング講座の案内などを提供する。単方向である。

### 3・3 ファイルボックス

学習時に必要な資料を事前に教員が作成してファイルボックスに保存し、受講生はファイルボックスよりダウンロードして利用することができる。ファイルの著作権は放棄していないが、ダウンロード後、個人でわかりやすいようにレイアウトし直して利用することは可能である。

また、受講者にレポート提出などを課す場合には、ファイルボックスへ資料をアップロードさせることもできる。

### 3・4 フォーラム

同じ講座を学習している受講生同士や教員受講生間でディスカッションを行う機能である。新しいトピックの投稿、既存のトピックへの返信を行いディスカッション形式で内容が保存される。受講生固有のハンドルネームが使用される。また、フォーラム内を語句で検索することも可能である。

### 3・5 アクティブメッセージ

アクティブメッセージを利用すると受講生同士や教員受講生間で、メールソフトを介さずに簡単なメッセージの送受信ができる。アクティブメッセージの送信先として登録したユーザーであれば、現在そのユーザーがこのシステムにログインしているかどうかの状況が確認できる。初期設定では、送信先として代表教員が1名登録されており、質問は代表教員を通して、その分野の専門教員へ回される。

## 4. まとめ

我が国では、未だeラーニングが普及しているとは言い難い<sup>2)</sup>。システム導入後のソフト面の充実がなされていない点、目的がはっきりしていない点がその原因として挙げられる。本講座のコンテンツについては、次回国家試験を踏まえて再度報告予定であるが、既存の参考書等に比べて充実しているといえる。一例として、国民健康・栄養調査や食中毒統計のデータ問題については、早い時期に出版された参考書には、必要なデータが揃っておらず、遅い時期に出版されたものでは、データは揃っているが試験まで時間がないという問題がある。eラーニング講座では、データは発表されたものから順次公開でき、更新も容易である。データ問題は毎年変更されるので、データモジュールコンテンツは、このシステムの大きな長所であると言え

る。

本講座の目的は、管理栄養士国家試験受験対策と銘打っているように、国家試験合格とはっきりしている。2006年の改正介護保険法施行（一部前倒しにより2005年施行）により管理栄養士の社会的地位は益々高まり、社会的ニーズも高いと言える。また、内容面については、前述の通り既存のものにはない有用性があると思われる。よって、本講座は栄養士養成課程卒業後教育の主幹となりうると確信している。今回作成した冊子「管理栄養士国家試験受験対策ステューデントマニュアル」は、それを大きく助けるものであると考える。

#### 参考文献

- 1) 松下博宣, “図解でわかる e-ラーニング入門”, 日本能率協会マネジメントセンター, 東京, pp. 14-19, 2001
- 2) 吉田文, “e-ラーニング基礎資料について”, 独立行政法人メディア教育開発センター国際シンポジウム 2004 報告書, pp. 73, 2005

#### 要旨

本学科では、いち早くインターネットを介した新しい教育方法を開発し、公開講座「eラーニング管理栄養士国家試験受験対策」を平成17年9月より配信している。この講座をより効果的に、そして情報機器操作能力の低い受講生でも無理なく扱えるように、冊子「管理栄養士国家試験受験対策ステューデントマニュアル」を作成し、受講生全員に郵送した。本マニュアルの内容は、本講座の実際の操作中に見られる画面で構成され、実用的である。本マニュアルは、栄養士養成課程卒業後教育の主幹となる本講座の拡張の一助になると考えられる。